

(9) 部活動の活躍

昭和63年度には陸上競技部が大活躍し、県大会の男子800mリレー、女子400mリレーとともに優勝している。

平成12年度には、野球部が県中軟式野球選手権大会とNTT旗争奪県中軟式野球大会で見事優勝している。

平成16年度には剣道部男子が県中選手権大会で準優勝し、平成17年度には剣道部男子が県中選手権大会と県総体とともに見事優勝し、三重県で開催された全国総体に出場している。

さらに平成19年度には野球部が県総体で優勝を飾った。この他にもいくつかの個人種目において県大会で優勝したり上位入賞したりしている。このように部活動では輝かしい成績を収めた。

そして文化的な活動においても、県科学体験発表会特選、日本学生科学賞県最優秀賞、県社会科研究選賞特選、県同和カルタ取り大会中学校の部優勝、県同和問題啓発ポスター最優秀賞等数々の賞を受賞している。また、平成10年代には「社会を明るくする運動少年の主張」県大会において、最優秀賞を毎年のように受賞し、中四国代表として全国大会に出場した生徒も出ている。

(10) 活躍する卒業生

坂中の卒業生で多数の方が、全国的に活躍されているが、ここでは坂中を卒業して高校時代や20代などの比較的早い段階で活躍された卒業生を紹介する。

①谷口みゆきさん（旧姓吉川）（平成8年度卒）

坂中時代は陸上競技部に所属し、黙々と練習に取り組んでいた。小松島高校へ進学しライフル部に入部してその素質が開花した。高校2年生からライフル射撃の全日本選手権大会で日本新記録を出して優勝するなど大活躍した。その後もチームライフル種目で日本新記録やタイ記録を何度も出して優勝している。長い間の日本のトップ選手としての活躍は特筆ものである。

②根本隆輝さん（昭和63年度卒）

坂野中学校時代は野球部のエースピッチャーとして県大会などで活躍していた。小松島西高校へ進学してからは、素晴らしいバッティングセンスを発揮し、中心選手としてチームを甲子園出場へ導いた。高校3年の秋に、プロ野球日本ハムファイターズからドラフト指名を受け、卒業と同時に入団した。その後阪神タイガースへ移籍し2球団で活躍した。坂野中学校からは畠山選手に続いて2番目のプロ野球選手となった。

③前田陽子さん（平成11年度卒）

12才からゴルフを始め、香川西高校へ進学してから頭角を現してきた。2008年にプロテストに合格し、2014年伊藤園レディスゴルフトーナメントでツアー初優勝を飾った。また2015年のサマンサタバサガールズコレクション・レディーストーナメントで2勝目を挙げている。

本県の谷口V3

女 ちゅう射子

全日本ライフル射撃の第32回ライフル射撃は30日、埼玉県の国際学院高体育館で閉幕。チームライフル種目が行われ、女子ちゅう射（予選60発、決勝10発）で徳島県の谷口みゆき（旧姓・吉川、小松島

谷口は同立射（予選40発、決勝10発）でも、3位に入る活躍をみせた。【女子】チームライフル立射（40発決勝10発）の小森美沙（栃木高岡北陵高）503・1点（400・103・1）②駒田（栃木高岡北陵高）501・2点③谷口（小松島リハビリテーション）500・8点④ちゅう射（予選704・6点②クリニック）704・6点③Q、104・6④徳島（増玉・国際学院高）701・5点⑤堀内（徳島大）701・2点



谷口みゆき

リハビリテーションクリニック）が3連覇を達成した。

6点の好記録をマークして3連覇を果たした谷口（小松島リハビリテーションクリニック）。銃を静止させてから引き金を引くまでのタイミングを変えたことで「序盤からリズムよく撃てた」と、冷静に分析する。

昨年11月に結婚して練習時間が短くなったが、その分集中して練習ができていたという。「団体でも活躍できるように頑張りたい」と今後の目標を力強く話した。